



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2014年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫

「ナニヤドヤラ」

五月7日付けの『ラフ新報』の「未知国」(みちのく)へというタイトルで新郷村の「キリストの墓」の記事が載った。青森で生まれ育った僕ではあるが、ここを訪れたことはない。二千年前に召されたイエス・キリストの墓が、みちのく最北端の地にあり、それを今もまことしやかに祭っているというのである。

「新緑がまぶしい杉木立に覆われた丘陵を登る道すがら、村役場職員の横田智大(27)さんは『村では魔よけを願って赤ん坊にこうするんです。僕も生まれたときに』と、人さし指で自分の額に十字を描いた。丘の上にはこんもりと盛り土があり、天を仰ぐような大きな木製の十字架がそびえていた。『イエス・キリストの墓』だという。青森県南部の山あいを開けた新郷(しんごう)村。キリスト教の聖地、中東エルサレムから東に9千キロ離れた東北地方に生まれた異聞である。毎年6月の第一日曜はキリストの慰霊祭となる。浴衣姿の村の女性たちが墓の周りで、ある囃子(はやし)歌に合わせて盆踊りをする。踊り手の櫻井愛子さん(59)がそれを歌ってくれた。:ナニヤドヤラ ナニヤドナサレノ:哀愁に満ちた旋律。『荒唐無稽かもしれませんが、神さまを讃えるヘブライ語という説もあるんですよ』この歌詞の来歴は、いまだ謎に包まれている。盆には十字を組んだ杉の幹に灯籠を下げる。旧家に残るユダヤの象徴、ダビデの星に似た家紋。村は、神秘に彩られている。新郷は昭和30年、戸来(へらい)が隣村と合併して誕生した。村に次のような伝説がある。エルサレムで十字架で磔(はりつけ)になったのはキリストの弟だった。中東を出奔したキリストは八戸の浜に漂着後、戸来を訪れ、村で106歳の生涯を閉じた。時を経て昭和十年、キリストの墓が「発見」された。当時を知る古老、小坂源治さん(96)がしきりにうなづく。『竹内巨磨という宗教家が村を訪れ、旧家の墓所に盛り土を見つけて、キリストの墓だ!』と。戸来もヘブライ語だそうだ」

この「ナニヤドヤラ」を民族学者の柳田国男はこう解釈した。《要するに何なりともしよかし、何うなりともなざるがよいと、男に向かつて呼びかけた恋の歌である》と。僕はクリスチャンとして、最北の未知国にキリストの伝説が残っているだけでも「やったー」という気分になるのだが、キリストの弟が磔になったというのには、どうもいただけない。「この人による以外に救いはない」(使徒四・12)とあるように、救いは十字架についたイエス・キリストなのである。異聞とは云え、誇り高き青森県人の心の一端を知って心がなごむのである

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

